

平成22年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟勤労者総合福祉センター（新潟テルサ）		
管理者名	新潟市開発公社・愛宕共同事業体	指定期間	平成22年4月1日 ~ 平成26年3月31日
担当課	経済・国際部雇用対策課		
所在地	新潟市中央区鐘木185番地18		
根拠法令	なし		
設置条例	新潟勤労者総合福祉センター条例		
施設概要	<p>敷地面積 31,319㎡ 建築面積 7,212㎡ 延床面積 11,729㎡ 構造・規模 鉄筋コンクリート造、地上4階・地下1階建て 主な施設内容</p> <p>1階 多目的ホール(3,241㎡ 定員 1,510人) 健康クラブ (1,367㎡ 定員 100人)</p> <p>2階 特別会議室 (158㎡ 定員 62人) 中会議室 (160㎡ 定員 62人) 小会議室1 (55㎡ 定員 20人) 小会議室2 (55㎡ 定員 20人) レストラン (349㎡ 定員 120人)</p> <p>3階 大会議室 (226㎡ 定員 150人) 研修室1 (75㎡ 定員 54人) 研修室2 (82㎡ 定員 54人) 和室1 (15畳 定員 8人) 和室2 (10畳 定員 8人) 和室3 (10畳 定員 8人)</p> <p>屋外駐車場 (15,318.7㎡、600台)</p>		

施設設置目的
<p>勤労者をはじめとする市民の教養、文化及び福祉の向上並びに健康の増進を図るため、新潟勤労者総合福祉センターを設置する。</p>
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1) 新潟勤労者総合福祉センター条例に基づき、勤労者をはじめとする市民の教養、文化及び福祉の向上並びに健康の増進に寄与すること。 【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業：市民を対象とした公平かつ平等なホール、会議室の貸館業務の運営 ・健康増進事業：市民の健康増進に関する事業の実施 ・自主事業：市民の教養、文化及び福祉の向上を目的とした催事、研修等の企画、開催 <p>(2) 利用者の視点に立ち、施設が安全、安心、快適に利用できるよう努めること。 【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い安心感の提供、安全確保、快適性に重点を置いた管理運営 ・利用者からの意見、要望を反映させた管理運営 ・法令の遵守（個人情報保護等） <p>(3) 利用者数の増加と稼働率の向上を図るとともに、管理経費の縮減に努めること。 【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業における利用者の増加、稼働率の上昇 ・利用者サービスの向上かつ管理経費の縮減

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	・ホームページの充実とアクセス数の増加	ホームページの内容充実に努めた。 アクセスページ数 ・H21 1,121,488回 ・H22 1,208,542回	A	昨年度を上回るアクセス数があり、目標を達成した。
	基準利用者数の達成	・年間総利用者数 41万人以上	374,295人	B	東日本大震災の発生により臨時休業した影響もあり、目標を下回ったが、この結果はやむを得ないと判断する。
	基準稼働率の達成	・ホール稼働率 51%以上 ・会議室稼働率 81%以上	・ホール稼働率 57.6% ・会議室稼働率 77.2%	B	東日本大震災の発生により臨時休業した影響もあり、目標を下回ったが、この結果はやむを得ないと判断する。
	各種サービス別満足度	・利用者アンケートで「満足」が 80%以上	ホール利用者アンケート 「満足」87.5%	A	目標を大きく達成した。
	設置目的に合致したサービス提供	1 興業 ・開催数 15回以上 ・集客数 19,100人以上 2 文化講座 ・開催数 30回以上 ・集客数 550人以上 3 人材育成セミナー ・開催数 3回以上 ・集客数 110人以上	1 興業 ・開催数13回(うち中止1) ・集客数 15,855人 2 文化講座 ・開催数 38回 ・集客数 716人 3 人材育成セミナー ・開催数4回(うち中止1) ・集客数 285人	B	興業以外は、全ての項目で目標を達成した。興業、人材育成セミナーの中止1回は、どちらも震災の影響によるものであり、興業の集客数が目標を下回ったことは、やむを得ないと判断する。
財 務	利用者1人当たりのコスト削減額	利用者1人あたりコスト500円以下	532円	B	震災の影響もあり、目標を下回ったことは、やむを得ないと判断する。
	管理運営経費の削減	管理運営費を年間200,000千円以下	199,257,129円	A	目標を達成した。
	市の歳入の増加	使用料収入を年間98,000千円以上	104,201,666円	A	目標を大きく達成した。
業 務	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に基づき業務を適切に実施	A	目標を達成した。
	人員計画の合理性・妥当性	サービス水準維持のための人員の適正配置	事業計画書に基づき適正に配置	A	目標を達成した。
	日常連絡・事業報告の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	月次報告書等各種報告については適切に実施	A	目標を達成した。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災責任者を配置し、防災訓練等の実施	防災責任者の配置訓練は9,3月に2回実施	A	目標を達成した。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事故発生の防止と発生時の体制確保及び訓練の実施	危機管理体制については、事業計画書に基づき適切に実施	A	目標を達成した。
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員研修の定期的な開催	職場リーダー研修、救命講習等への参加	A	目標を達成した。
	労働基準の充足	関係労働法令の遵守	関係労働法令について遵守	A	目標を達成した。

総 合 評 価 (所 見)

東日本大震災の発生により3月15日から3月31日までの間、当施設を一時待機所として臨時休業したことに伴い、一部項目の実績について目標を下回ったが、これはやむを得ないものと判断する。

市民視点の項目では、ホール稼働率は57.6%と、直近10年間で最高値を示したことは高く評価できる。

財務視点の項目では、震災の影響もあり「利用者1人当たりのコスト削減額」が目標を下回ったものの、昨年度の546円と比較し削減に努力したことは評価できる。

業務・人材視点の項目では、いずれも適切に実施しており目標を達成している。

今後も引き続き、条例、施行規則、基本協定、年度協定等関係法令に基づき、適切な施設運営及び施設管理に努力されたい。